

平成27年11月5日  
機関リポジトリ推進委員会

## 機関リポジトリ新協議会（仮称） 設立趣意書

### 1. 新協議会設立の趣旨

現在、日本の機関リポジトリ設置機関数は558を数え、世界有数の規模に到達している。ここに至るまで、国立情報学研究所による構築支援プロジェクトをはじめ、デジタルリポジトリ連合（通称DRF）や国公私の各図書館協（議）会および地区毎のコミュニティ、JAIRO Cloud 参加館によるユーザグループ、機関リポジトリ推進委員会などが、それぞれ様々な活動を展開し、機関リポジトリの振興を支え、オープンアクセス推進の一端を担ってきた。

一方、欧米をはじめとする世界規模で、公的研究資金の助成機関によるオープンアクセスの義務化が具体化されつつある。日本においても平成27年3月に内閣府から公開されたオープンサイエンスに関する報告書で、研究データの公開に加えてオープンアクセスの義務化についても言及されている。報告書公表後、内閣府でのフォローアップ検討会に並行して、文部科学省の学術情報委員会、日本学術会議オープンサイエンスの取組に対する検討委員会等でも取組が開始されている。このような潮流の中で、オープンアクセスに寄与することは、単なる図書館の活動ではなく、個々の研究者や大学・研究機関としての必要条件となりつつある。大学図書館としては、この急速な時代の変化に対応するため、研究成果の情報発信を普及・定着させる他に、人材育成とシステム的な機能改善の両側面からも、機関リポジトリの意義を高めるための取組を推進していかなければならない。

この取組をより効率的に推進していくため、機関リポジトリを中心とするオープンアクセスに関する既存の枠組みを統合再編し、未参加機関も積極的に迎え入れることにより、大学図書館界全体として活動する場となる機関リポジトリ新協議会を設立するものである。

### 2. 当面の重点目標

- オープンサイエンスを含む学術情報流通の改善
- リポジトリシステム基盤の共同運営と有効活用
- リポジトリ公開コンテンツのさらなる充実
- 担当者の人材育成のための研修活動
- 国際的な取組みに対する積極的連携

### 3. 設立に向けたスケジュール

平成27年7月7日 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

機関リポジトリ推進委員会が中心となって協議会設立に向けて検討を進めることを承認

平成27年10月8日 機関リポジトリ推進委員会

設立準備会設置

平成27年11月11日 図書館総合展フォーラム

新協議会構想発表

平成28年2月 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

新協議会設置承認

平成28年4月 新協議会

会員募集開始

#### 4. 設立準備会メンバー

- (1) 機関リポジトリ推進委員会
  - 富田 健市 (北海道大学附属図書館)
  - 尾城 孝一 (東京大学附属図書館)
  - 山本 和雄 (横浜国立大学附属図書館)
  - 森 一郎 (新潟大学附属図書館)
  - 大前 富美 (大阪府立大学学術情報センター)
  - 菊池 亮一 (明治大学図書館)
  
- (2) デジタルリポジトリ連合 (DRF)
  - 杉田 茂樹 (千葉大学附属図書館)
  - 鈴木 雅子 (静岡大学附属図書館)
  - 鈴木 正紀 (文教大学越谷図書館)
  - 尾崎 文代 (広島大学図書館)
  
- (3) JAIRO Cloud 参加館
  - 江川 和子 (筑波大学附属図書館)
  - 宇佐見 博 (立教大学図書館)
  
- (4) 国立情報学研究所
  - 酒井 清彦 (国立情報学研究所)
  - 細川 聖二 (国立情報学研究所)

以 上